

【療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づく揭示事項】

入院基本料に関する事項	(HCU) 1日に6人以上の看護職員が勤務しています。看護職員1人あたりの受け持ち患者数は4人以内です。 (一般病棟) 1日に18人以上の看護職員が勤務しています。時間帯ごとの配置は、朝8:30から夕方16:30の看護職員1人あたりの受け持ち患者数は7人以内、夕方16:30から翌朝8:30の看護職員1人あたりの受け持ち患者数は12人以内です。また、入院患者さま25人に対して1人以上の看護補助者を配置しております。 なお病棟、時間帯などで看護職員の配置が異なります。実際の看護配置につきましては、各病棟の掲示板をご覧ください。
厚生労働大臣が指定する病院の病棟並びに厚生労働大臣が定める病院（DPC病院）に関する事項	当院は入院医療費の算定にあたり、包括評価と出来高評価を組み合わせる算定する『DPC対象病院』となっております。 ※医療機関別係数1.5767(基礎係数 1.0451+機能評価係数Ⅰ 0.3884+機能評価係数Ⅱ 0.0951+救急補正係数 0.0481)
地方厚生（支）局長への届出事項に関する事項	当院は入院時食事療養費に関する特別管理により食事の提供を行っております。療養のための食事は管理栄養士の管理の下に適時（朝食 午前8時、昼食 午後0時、夕食 午後6時）適温で提供しております。
診療報酬明細書の発行状況に関する事項	当院では、医療の透明化や患者さまへの情報提供を積極的に推進していく観点から、領収書の発行の際に、「個別の診療報酬の算定項目のわかる明細書」を無料で発行しております。 また、公費負担医療の受給者等で医療費の自己負担がない方についても、明細書を無料で発行しています。 なお、明細書には、使用した薬剤の名称や実施された検査等の名称が記載されていますので、ご本人以外が明細書を受け取る場合（ご家族が会計を行う場合）も含めて、ご理解くださいますようお願いいたします。 明細書の発行を希望されない方は、医事課会計窓口へその旨お申し出ください。
保険外負担に関する事項	当院では個室使用料、証明書・診断書などにつきまして、その利用に応じた実費のご負担をお願いしております。 「 保険外負担 」をご参照ください。
特別の療養環境の提供に係る基準に関する事項	「 入院について 」「 保険外負担 」をご参照ください。
200床（一般病床に係るものに限る。）以上の病院の初診に関する事項 特定機能病院及び地域医療支援病院（一般病床に係るものの数が200床未満の病院を除く。）及び紹介受診重点医療機関（一般病床の数が200床未満の病院を除く。）の初診に関する事項	他の保険医療機関からの紹介によらず、当院に直接来院した場合については初診に係る費用として7,700円を徴収することになります。ただし、緊急その他やむを得ない事情により、他の保険医療機関等からの紹介によらず来院した場合はこの限りではありません。この費用は病院と診療所の機能分担を推進する観点から自己の選択に係るものとして、初診料を算定する初診に相当する療養部分についてその費用を徴収することが出来ると定められたもので、特定機能病院及び200床以上の地域医療支援病院に義務付けられております。
特定機能病院及び地域医療支援病院（一般病床に係るものの数が200床未満の病院を除く。）及び紹介受診重点医療機関（一般病床の数が200床未満の病院を除く。）の再診に関する事項	再診患者さまの中で病状が安定し、診療所への紹介を受けた患者さまがかりつけ医の紹介無しに再受診された場合、あるいは「かかりつけ医」への紹介を当院より申し出たが引き続き当院にて診察を希望された場合（紹介状交付の有無に関わらず）につきましては、再診料のほかに保険外併用療養費として3,300円を徴収することになります。
入院期間が180日を超える入院に関する事項	同じ症状による通算の入院期間が180日を超えますと、患者さまの状態によっては健康保険からの入院基本料15%が病院に支払われません。180日を超えた日からの入院が選定療養となり、1日につき2,390円は特定療養費として患者さまの負担になります。
多焦点眼内レンズの支給に関する事項	多焦点眼内レンズを使用する白内障手術を受ける場合、当院では選定療養の費用として、通常の診療費とは別に以下の金額をご負担いただきます。 多焦点眼内レンズの種類 金額 アルコン アクリソフ IQ PanOptixシングルピース（モデル TFNT00） 198,000円 アルコン アクリソフ IQ PanOptix トーリック シングルピース(モデル TFNT30 TFNT40 TFNT50 TFNT60) 238,000円 テクニス シンフォニーVB(ZXR00V) 182,000円 テクニス シンフォニートーリックVB(ZXV150、ZXV225、ZXV300、ZXV375、ZXW150、ZXW225、ZXW300、ZXW375) 210,000円 テクニス マルチフォーカル ワンピース(ZMB00/ZLB00/ZKB00) 182,000円 テクニス マルチフォーカル アクリル(ZMA00) 182,000円 テクニス シナジー TVB Simplicity (DFW150、DFW225、DFW300、DFW375) 300,000円 テクニス シナジー VB Simplicity (DFR00V) 280,000円 Clareon 非球面PanOptix トリフォーカル 疎水性 アクリル眼内レンズ（モデル CNWTT0） 198,000円 Clareon 非球面PanOptix TORIC トリフォーカル 疎水性 アクリル眼内レンズ（モデル CNWTT3 CNWTT4 CNWTT5 CNWTT6） 238,000円 Clareon Vivify Extended Vision 眼内レンズ AutonoMe オートブロードデリバリーシステム（モデル CNAETO）198,000円 ファインビジョンHP（モデル POD F GF） 238,000円 テクニス オデッセイ VB Simplicity (DRN00V) 286,000円 テクニス オデッセイ TVB Simplicity (DRT150、DRT225、DRT300、DRT375) 308,000円 選定療養とは、患者さまご自身が選択して受ける追加的な医療サービスで、その分の費用は全額自己負担となります。令和2年4月より、術後の眼鏡装用率の軽減を目的とした多焦点眼内レンズを使用する白内障手術は、厚生労働省が定める選定療養の対象となりました。 当院は多焦点眼内レンズの白内障手術を行う医療機関として届出をしています。多焦点眼内レンズの対象となる患者さまには診察時に詳細をご説明致します。
長期収載品の処方等又は調剤に関する事項	医療上の必要性がないにもかかわらず、患者さまが長期収載品を選択した場合には、後発品との差額の4分の1を患者さまの負担になります。

【施設基準の規定による揭示事項】

情報通信機器を用いた診療	初診の場合、向精神薬など一部薬剤が投与できない場合があります。また、患者さまの状況に応じて対面診療をお勧めする場合がありますので、ご了承ください。
医療情報取得加算	当院は、オンライン資格確認を行う体制を有しており、オンライン資格によって得た情報（受診歴、薬剤情報、特定健診情報、その他必要な診療情報）を活用することにより、質の高い医療の提供に努めています。
医療DX推進体制整備加算	当院は、医療DXを通じた質の高い診療提供を目指しております。 ◎オンライン資格確認等システムによる取得した医療情報等を活用して診療を実施しています。 ◎マイナ保険証利用等を促進するなど、医療DXを通じて質の高い医療を提供できるよう取り組んでおります。
歯科初診料 地域歯科診療支援病院歯科初診料	歯科外来診療における院内感染防止対策に、十分な体制の整備・機器を有し、研修を受けた院内感染管理者（歯科医師）を配置しております。また職員には院内感染防止対策に係る院内研修等を実施しています。
病院の入院基本料の基準	（入院診療計画、院内感染防止対策、医療安全管理体制、褥瘡対策、栄養管理体制、意思決定支援及び身体的拘束最小化について） 当院では入院の際に医師を初めとする関係職員が共同して、患者さまに関する診療計画を策定し、7日以内に文書によりお渡ししております。また、厚生労働大臣が定める院内感染防止対策、医療安全管理体制、褥瘡対策、栄養管理体制、意思決定支援及び身体的拘束の最小化についての基準を満たしております。
後発医薬品使用体制加算	当院では、後発医薬品の使用を促進しています。 医薬品の供給不足が発生した場合に、治療計画等の見直しなど、適切な対応ができる体制を整備しております。 なお、状況によっては、投与する薬剤が変更となる可能性がございます。 変更にあたって、ご不明な点がご心配なことなどがありましたら、お気軽にご相談ください。
協力対象施設入所者入院加算	当院では以下の介護保険施設等の協力医療機関として、病状の急変等に対応する体制をとっております。 ◎協力対象施設 大冠カーム（小規模特養）、御殿山カーム（特別養護老人ホーム）、上牧の郷（特別養護老人ホーム）、グループホーム上牧の郷、和朗園（特別養護老人ホーム）、グループホーム和朗園、みやの楽々園（介護付老人ホーム）、サンガピア館（介護老人保健施設）、エイベックスひろの（特別養護老人ホーム）、グループホーム翠明、グループホーム楽彩、グループホームひふみ、ひばり苑（特別養護老人ホーム）、グループホーム ティアラ 真草苑（軽費老人ホーム）、常清の里（特別養護老人ホーム）、春菊苑（特別養護老人ホーム）、光華苑（養護老人ホーム）、春菊荘（有料老人ホーム）、グループホーム ふじい 見付山めぐみの里 うぐいすの里（特別養護老人ホーム）、出丸苑（特別養護老人ホーム）、高槻けやきの郷（特別養護老人ホーム）、高槻ともしび苑（特別養護老人ホーム）、聖和荘（特別養護老人ホーム）、ローズマリー（介護老人保健施設）、グループホーム ファミリーなわて、グループホーム ファミリーまかみ
がん性疼痛緩和指導管理料	がん性疼痛の症状緩和を目的とした神経ブロックをがん患者さまに提供できる体制を有しています。
院内トリアージ実施料	当院では、緊急で受診された患者さまに、院内トリアージ（患者さまの緊急度の評価）を行っています。 患者さまの重症度により、診療の優先順位を変えさせて頂く事があります。 受付の順番通りの診療ができないことがあります、ご了承願います。
外来腫瘍化学療法診療料	当院は以下の対応を行っております。 ◎専門の医師、看護師または薬剤師が院内に常時1人以上配置され、本診療料を算定している患者さまから電話等による緊急の相談等に24時間対応できる連絡体制が整備されています。 ◎急変時等の緊急時には、当該患者さまが入院できる体制が確保されています。 ◎実施される化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性を評価し、承認する委員会を開催しています。
外来腫瘍化学療法診療料 注 8 連携充実加算	当院で実施される化学療法について、他の医療機関及び保険薬局からのレジメンに関する照会等に応じる体制を整備しています。
処方箋料/一般名処方加算	当院では、後発医薬品の使用促進を図るとともに、医薬品の安定供給に向けた取り組み等を実施しております。後発医薬品のある医薬品について、特定の医薬品名を指定するのではなく、薬剤の成分をもとにした一般名処方（※一般的な名称により処方箋を発行すること）を行う場合があります。一般名処方によって特定の医薬品の供給が不足した場合であっても、患者さまに必要な医薬品が提供しやすくなります。 ※一般名処方とは お薬の「商品名」ではなく、「有効成分」を処方箋に記載することです。そうすることで供給不足のお薬であっても有効成分が同じ複数のお薬が選択でき、患者さまに必要なお薬が提供しやすくなります。
手術通則第5号及び第6号並びに歯科点数表第二章第九部手術通則第4号に掲げる手術	「 施設の手術基準に該当する手術件数等 」をご参照ください。

【近畿厚生局長へ届け出た届出医療】

情報通信機器を用いた診療に係る基準	情報通信機器を用いた診療を行うにつき十分な体制が整備されています。
医療D X推進体制整備加算	オンライン資格確認により取得した診療情報・薬剤情報等を実際の診療に活用可能な体制を整備しています
初診料（歯科）の注1に掲げる基準	口腔内で使用する歯科医療機器などについて、患者さまごとの交換や、専用の機器を用いた洗浄・滅菌処理を徹底するなど十分な院内感染防止対策を講じています。
歯科外来診療感染対策加算1	口腔内で使用する歯科医療機器などについて、患者さまごとの交換や、専用の機器を用いた洗浄・滅菌処理を徹底するなど十分な院内感染防止対策を講じています。
一般病棟入院基本料	1日に入院患者さま7人に対して1人以上の看護職員と、入院患者さま25人に対して1人以上の看護補助者を配置しています。
急性期充実体制加算2	手術等の高度かつ専門的な医療に係る実績及び高度急性期医療を実施する体制を整備しています。
救急医療管理加算	医師が緊急に入院が必要であると認めた重症患者さまに対して救急医療を行っています。
超急性期脳卒中加算	脳梗塞と診断された患者さまに早期の入院治療を行っています。
診療録管理体制加算1	適切な診療記録の管理を行っています。
診療録管理体制加算2	適切な診療記録の管理を行っています。
医師事務作業補助体制加算1	医師の事務作業を補助し、医師が診療に専念できる体制を作っています。
急性期看護補助体制加算	病棟に看護補助者を配置し、看護師が看護に専念できる体制を作っています。
看護職員夜間配置加算	夜間に看護師を配置し、夜間の手厚い看護を行っています。
緩和ケア診療加算	一般病床に入院する悪性腫瘍、後天性免疫不全症候群又は末期心不全の患者さまで、疼痛、倦怠感、呼吸困難等の身体的症状又は不安、抑うつなどの精神症状を持つ患者さまに対して、同意に基づき緩和ケアチームによる診療を行っています。
リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算	入院中の患者さまのA D Lの維持、向上等を目的に、リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理に係る評価、計画、取り組みを多職種で行っています。
栄養サポートチーム加算	医師、看護師、薬剤師、栄養士によるチームが栄養管理が必要な患者さまの診療を行っています。
医療安全対策加算1	専従の医療安全管理者を配置して組織的な医療安全対策を実施しています。
感染対策向上加算1	感染対策部門に感染制御チームを組織し、感染防止対策を行っています。
患者サポート体制充実加算	患者さま相談窓口を設置して、専任の職員が患者さま等からの医学的な質問や生活上及び入院上の不安等に関する相談について対応しています。
重症患者初期支援充実加算	入院時重症患者対応メディエーターを専任配置して、医師・看護師等とともに、患者さま・ご家族等に対して、治療方針・内容等の理解及び意向の表明を支援しています。
報告書管理体制加算	画像診断報告書・病理診断報告書の確認漏れを防止する取り組みを行っています。
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	褥瘡予防・管理が難しく重点的な褥瘡ケアが必要な患者さまに対し、専従の褥瘡管理者による重点的な褥瘡ケアを実施しています。
呼吸ケアチーム加算	医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士等が共同して、人工呼吸器の離脱のために必要な診療を行っています。
術後疼痛管理チーム加算	術後疼痛管理に係る専門的知識を有した多職種からなるチームが必要な疼痛管理を実施しています。
後発医薬品使用体制加算1	後発医薬品の品質、安全性、安定供給体制等の情報を収集・評価し、後発医薬品の使用・採用を決定しています。
病棟薬剤業務実施加算1	病棟において専任の薬剤師による薬物療法の有効性や安全性の向上に資する業務を行っています。
データ提出加算	医療の質の向上や在院日数の短縮、医療費の抑制、医療の平準化などを目的に、厚生労働省が定める情報を提出しています。
入退院支援加算	入院早期から退院困難な要因を有する患者さまの退院支援を行っています。
認知症ケア加算	認知症看護に係る適切な研修を修了した看護師を全ての病棟に3人以上配置して、必要なケアを行っています。
せん妄ハイリスク患者ケア加算	入院前又は入院後3日以内にせん妄のリスク因子確認を行い、リスクの高い患者さまに対して非薬物療法を中心とした対策を行っています。
精神疾患診療体制加算	身体疾患や外傷のため救急搬送された精神症状を伴う患者さまの診療を行っています。
排尿自立支援加算	排尿に関するケアに係る専門的知識を有した多職種からなるチームを設置し、患者さまの診療を担う医師、看護師等が、排尿ケアチームと連携して下部尿路機能の回復のための包括的なケアを実施しています。
地域医療体制確保加算	地域の救急医療体制、周産期医療体制又は小児救急医療体制において重要な機能を担うとともに、病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する取組を実施しています。
協力対象施設入所者入院加算	介護保険施設等の協力医療機関として、病状の急変等に対応する体制をとっています。
ハイケアユニット入院医療管理料1	一般病棟より重症度の高い患者さまを受け入れ、1日に入院患者さま4人に対して1人以上の看護職員を配置しています。
短期滞在手術等基本料1	短期滞在手術等を行うための環境を整備しています。
入院時食事療養／生活療養（Ⅰ）	管理栄養士の管理の下に適時、適温で提供しております。
外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	外来化学療法を実施している悪性腫瘍の患者さまに対して、医師の指示に基づき管理栄養士が具体的な献立等によって栄養指導を行っています。
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	遠隔モニタリングに対応した体内植込式心臓ペースメーカー等を使用している患者さまについて、外来で適切な管理を行い、状況に応じて適宜患者さまに来院等を促す体制を整えています。
糖尿病合併症管理料	糖尿病神経障害や閉塞性動脈硬化症等を有する糖尿病患者さまに対し、医師や看護師が重症化予防の指導を行っています。
がん性疼痛緩和指導管理料	がん性疼痛の症状緩和を目的として麻薬を投与している患者さまに対して、緩和ケアに係る研修を受けた医師が計画的な治療管理及び療養上必要な指導を行っています。
がん患者指導管理料Ⅰ	がん患者さまの治療に際して、医師が看護師と共同して治療方針について話し合い、その内容を文書等で提供しています。
がん患者指導管理料Ⅱ	がん患者さまの治療に際して、医師、看護師又は公認心理士が心理的不安を軽減するために面接を行っています。
がん患者指導管理料ニ	がん患者さまの治療に際して、医師が遺伝子検査の必要性等について文書により説明を行っています。
外来緩和ケア管理料	がん性疼痛の症状緩和を目的として麻薬を投与している悪性腫瘍、後天性免疫不全症候群又は末期心不全の患者さまで、疼痛、倦怠感、呼吸困難等の身体的症状又は不安、抑うつなどの精神症状を持つ外来の患者さまに対して、同意に基づき症状緩和に係るチームによる診療を行っています。
糖尿病透析予防指導管理料	糖尿病指導の経験を有する医師、看護師、管理栄養士等のチームが、透析を要する状態となることを予防するために指導等を行っています。
婦人科特定疾患治療管理料	器質性月経困難症で、ホルモン剤を投与している患者さまに、婦人科又は産婦人科を担当する医師が、計画的な医学管理や指導を行います。
二次性骨折予防継続管理料1	骨粗鬆症の治療による二次性骨折の予防を目的として、大腿骨近位部骨折の手術を行った患者さまに医師、看護師、薬剤師が連携して骨粗鬆症の計画的な評価・治療等を行っています。
二次性骨折予防継続管理料3	骨粗鬆症の治療による二次性骨折の予防を目的として、大腿骨近位部骨折の手術を行った患者さまに外来で医師、看護師、薬剤師が連携して骨粗鬆症の計画的な評価・治療等を行っています。
慢性腎臓病透析予防指導管理料	慢性腎臓病の外来患者さまに対して、医師、看護師、管理栄養士等のチームが、透析予防に関する指導を共同して行っています。
地域連携夜間・休日診療料	地域の他の保険医療機関の医師と連携し、救急医療の確保のために、夜間、休日又は深夜に診療が可能な体制を整えています。
院内トリアージ実施料	緊急で受診された患者さまに、院内トリアージ（患者さまの緊急度の評価）を行っています。
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算	診療時間以外の時間、休日又は深夜において救急車で緊急搬送される患者さまの受け入れ対応に係る専任の看護師を複数名配置しています。
外来腫瘍化学療法診療料1	悪性腫瘍を主病とする外来患者さまに対して患者さまの同意を得た上で、医師、看護師及び薬剤師等が共同して、注射による外来化学療法の実施その他の必要な治療管理を行っています。
連携充実加算	地域の保険医療機関及び保険薬局との連携体制として、当院で実施されるは化学療法のレジメン（治療計画）をホームページ等で閲覧できるようにしています。
ニコチン依存症管理料	ニコチン依存症と診断された患者さまに禁煙の為の治療的サポートをする 禁煙外来を行っています。
療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	主治医が悪性新生物、脳梗塞、心疾患等の患者さまに対して就労の状況を考慮して指導し、患者さまの同意を得て産業医等に病状、治療計画等を提供しています。研修を受けた看護師や社会福祉士が同席し相談支援を行っています。
開放型病院共同指導料	患者さまのかかりつけ医である登録医と当院の医師が共同して治療を行っています。
がん治療連携計画策定料	がん治療を複数の医療機関で担う場合に、連携診療計画を作成して医療機関同士で情報を共有しています。
がん治療連携指導料	地域連携診療計画に沿ったがん治療に関わる医療機関と連携しています。
外来排尿自立指導料	排尿に関するケアに係る専門的知識を有した多職種からなるチームを設置し、外来において包括的排尿ケアを実施しています。
薬剤管理指導料	薬剤師が入院患者さまに、投薬又は注射及び薬学的管理指導を行っています。
地域連携診療計画加算	複数の医療機関で治療を担う場合に、連携診療計画を作成して医療機関同士で情報を共有しています。
医療機器安全管理料1	人工呼吸器、血液浄化装置などの生命維持管理装置の安全管理、保守点検及び安全使用を行う臨床工学技士を配置しています。
歯科治療時医療管理料	高血圧や糖尿病などの疾患をお持ちの患者さまの歯科治療にあたり、医科の主治医や病院と連携し、モニタリングなど、全身的な管理体制をとることができます。
在宅患者歯科治療時医療管理料	高血圧や糖尿病などの疾患をお持ちの患者さまの歯科治療にあたり、医科の主治医や病院と連携し、モニタリングなど、全身的な管理体制をとることができます。
救急患者連携搬送料	救急外来を受診した患者さま又は緊急入院後3日目までの患者さまの初期診療を行った上で、連携する他医療機関での入院のため緊急自動車により医師、看護師、救急救命士のいずれかが同乗して転院搬送します。
在宅療養後方支援病院	在宅医療を提供する医療機関と連携し、24時間診療可能な体制を確保しています。
B R C A 1／2 遺伝子検査	BRCA1遺伝子及びBRCA2遺伝子の変異の評価を行い、癌の治療法の選択又は診断を行っています。
H P V 核酸検出及びH P V 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	H P V 核酸検出、H P V 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）を施行する体制を整備しています。
検体検査管理加算（Ⅳ）	一定の基準を満たし、検体検査管理を行う体制が整備されています。
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	在宅酸素療法を行っている患者さま又は導入を検討している患者さまに対し検査を行い、運動耐用量等の評価及び治療方針の決定を行っています。
神経学的検査	意識状態、言語、脳神経、運動系、感覚系、反射、協調運動、髄膜刺激症状、起立歩行等に関する総合的な検査及び診断を行っています。
C T 透視下気管支鏡検査加算	C T 透視下に経気管肺生検検査を行っています。
画像診断管理加算2	核医学診断、コンピュータ断層診断の画像を、画像診断を担当する医師が読影結果を文書で診療担当医師に報告しています。

遠隔画像診断	医療機関から画像の受診を行うにつき十分な装置、機器、体制を有しています。
C T撮影及びMR I撮影	コンピューター断層撮影（CT撮影）、磁気共鳴コンピューター断層撮影（MRI撮影）の検査を行っています。
冠動脈C T撮影加算	心臓に酸素や栄養を送る冠動脈の状態を調べるためにCT撮影を行っています。
頭部MR I撮影加算	頭部MR I撮影を行う十分な機器、関係学会の定める指針に基づく体制が整備されています。
抗悪性腫瘍処処方管理加算	悪性腫瘍の通院患者さまに対して腫瘍用剤を処方するに当たり、投薬の必要性や危険性等について文書で説明し患者さまの同意を得ます。
外来化学療法加算 1	関節リウマチ等の通院患者さまに対して、注射による化学療法の必要性、副作用、用法、容量、その他の注意点等を文書で説明し同意を得ます。
無菌製剤処理料	無菌室やクリーンベンチ、安全キャビネットなどの無菌環境下で無菌化した器具を使って、無菌的に注射薬を混合します。
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	脳血管疾患や中枢神経疾患などの患者さまが、日常生活動作の回復や高次脳機能障害の改善を目的として行うリハビリテーションで、運動療法や歩行訓練、物理療法、作業療法、言語聴覚療法など行っています。
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	骨や関節、筋肉、神経などの運動器に障害を持つ患者さまを対象に、身体機能を改善することを目的としたリハビリテーションで運動療法や物理療法、装具療法など行っています。
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	呼吸器に関連した病気を持つ患者さまが、可能な限り疾患の進行を予防あるいは健康状態を回復・維持することを目的としたリハビリテーションで、理学療法や作業療法、言語聴覚療法など行っています。
がん患者リハビリテーション料	がんやがんの治療により生じた疼痛、筋力低下、障害等に対して、二次的障害を予防し、運動器の低下や生活機能の低下予防・改善することを目的として種々の運動療法、実用歩行訓練、日常生活活動訓練、物理療法、等を組み合わせてリハビリを行っています。
歯科口腔リハビリテーション料 2	顎関節症の患者さまに顎関節治療用装置を製作し、指導や訓練を実施しています。
医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の休日加算 1	緊急入院、手術実績を有し、医師の負担軽減に取り組んでいます。
医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の時間外加算 1	緊急入院、手術実績を有し、医師の負担軽減に取り組んでいます。
医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の深夜加算 1	緊急入院、手術実績を有し、医師の負担軽減に取り組んでいます。
人工腎臓	腎臓の働きを代行する医療機器で、血液透析や腹膜透析などの透析療法を行っています。
導入期加算 1	移植を含めた腎代替療法に関する情報提供などを行っています。
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	月1回以上水質検査を実施し、関連学会から示されている基準を満たした血液透析濾過用の置換液を製作して使用しています。
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	慢性維持透析を実施している全ての患者さまに、下肢末梢動脈疾患に関するリスク評価を行って指導管理等行っています。
ストーマ合併症加算	研修を修了した看護師を配置し、関係学会の指針に基づき処置を行っています。
磁気による膀胱等刺激法	成人女性の過活動膀胱に対して磁気による膀胱等刺激法を行っています。
C A D／C A M冠及びC A D／C A Mインレー	歯科用C A D／C A M装置を用いて、小臼歯に白色の冠を製作しています。
組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）	胸の筋肉の下に組織拡張器を挿入し、生理食塩水を注入して胸の皮膚を拡張させる人工物による乳房再建手術を行っています。
緊急整復固定加算及び緊急挿入加算	75歳以上の大腿骨近位部骨折患者さまにに対し適切な周術期の管理を行い、骨折後48時間以内に骨折部位の整復固定を行っています。
骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）	自家培養軟骨の骨移植術を行っています。
椎間板内酵素注入療法	腰椎椎間板ヘルニアに対して椎間板内酵素注入療法を行っています。
緊急穿頭血腫除去術	硬膜外、硬膜下血腫に対して緊急で穿頭血腫除去を行っています。
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	薬物療法、他の外科療法及び神経ブロック療法の効果が認められない慢性難治性疼痛に対して、脊髄刺激装置植込及び交換を行っています。
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（便失禁）	リード（刺激電極）と呼ばれる細い線から仙骨神経を刺激して便失禁を治療する、仙骨神経刺激装置植込及び交換を行っています。
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（過活動膀胱）	リード（刺激電極）と呼ばれる細い線から仙骨神経を刺激して過活動膀胱を治療する、仙骨神経刺激装置植込及び交換を行っています。
緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））	緑内障に対してインプラント挿入術を行っています。
緑内障手術（緑内障手術（流出路再建術（眼内法）及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）	緑内障に対して流出路再建術（眼内法）及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術を行っています。
緑内障手術（濾過胞再建術（needle法））	緑内障に対して濾過胞再建術（needle法）を行っています。
乳癌センチネルリンパ節生検加算 1 及びセンチネルリンパ節生検（併用）	乳腺悪性腫瘍手術において、放射性同位元素及び色素を用いたセンチネルリンパ節生検又はインドシアニングリーンを用いたリンパ節生検を行っています。
乳癌センチネルリンパ節生検加算 2 及びセンチネルリンパ節生検（単独）	乳腺悪性腫瘍手術において、放射性同位元素又は色素を用いたセンチネルリンパ節生検を行っています。
乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））	乳腺の悪性腫瘍に対して乳輪温存乳房切除術を行っています。
食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、等	食道穿孔や損傷、瘻閉鎖などに対して内視鏡下による手術を行っています。
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	心臓ペースメーカーの植込みや交換の手術を行っています。
内視鏡的逆流防止粘膜切除術	胃食道逆流症に対して、内視鏡で緩んだ噴門部の粘膜を切除して、噴門形成を行っています。
腹腔鏡下胃縮小術	適応となる肥満症に対して、腹腔鏡を用いて胃縮小術を行っています。
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）	胆嚢がんの浸潤範囲や進行度に応じて、胆嚢だけでなく周囲の肝臓やリンパ節を切除する手術を行っています。
腹腔鏡下肝切除術	肝臓にできた腫瘍を腹腔鏡を用いて手術を行っています。
腹腔鏡下脾腫瘍摘出術	脾腫瘍に対して腹腔鏡下で切除する手術を行っています。
腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術	脾臓の左側にある体部と尾部、脾臓を腹腔鏡下で切除する手術を行っています。
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	大腸の早期悪性腫瘍に対し、内視鏡を用いて高周波ナイフで粘膜下層の病変を剥離して切除する手術を行っています。
膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）	間質性膀胱炎に対して、膀胱水圧拡張術を行っています。
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	膀胱の悪性腫瘍に対して、腹腔鏡下で切除する手術を行っています。
人工尿道括約筋植込・置換術	前立腺がんに対する前立腺全摘除術後の尿道括約筋機能低下による重症な腹圧性尿失禁に対して、人工尿道括約筋植込・置換術を行っています。
腹腔鏡下仙骨腔固定術	骨盤臓器脱に対して、腹腔鏡を用いて弱った腔壁の代わりにメッシュを用いて支持組織をおきかえる腹腔鏡下仙骨腔固定術を行っています。
医科点数表第 2 章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算 1	緊急入院、手術実績を有し、医師の負担軽減に取り組んでいます。
医科点数表第 2 章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算 1	緊急入院、手術実績を有し、医師の負担軽減に取り組んでいます。
医科点数表第 2 章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算 1	緊急入院、手術実績を有し、医師の負担軽減に取り組んでいます。
医科点数表第 2 章第10部手術の通則の16に掲げる手術	経口摂取が不十分な患者さまや誤嚥性肺炎を繰り返す患者さま等に、体の外から胃の中に直接栄養剤を流し込むための穴をお腹にあげる手術を行っています。
周術期栄養管理実施加算	管理栄養士が医師と連携し、周術期の患者さまの栄養状態の把握、栄養管理を行っています。
輸血管理料Ⅱ	輸血管理体制の構築や、輸血療法の適切な実施に取り組んでいます。
輸血適正使用加算	輸血製剤の適正使用基準を満たして輸血療法を行っています。
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	人工肛門等造設後の合併症等の予防のため、適切な造設部位に処置を行っています。
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	胃瘻造設前に嚥下造影又は内視鏡下嚥下機能検査による嚥下機能評価を実施し、その結果に基づき医師が胃瘻造設の必要性、今後の摂食機能療法の必要性及び方法、胃瘻抜去又は閉鎖の可能性等について患者さま又はその家族等に十分に説明及び相談をします。
麻酔管理料（Ⅰ）	麻酔の安全管理体制の確保と質の高い麻酔の提供を目的に、 麻酔科標榜医が麻酔管理を行っています。
麻酔管理料（Ⅱ）	麻酔の安全管理体制の確保と質の高い麻酔の提供を目的に、 麻酔科標榜医指導の下で麻酔科医が麻酔管理を行っています。
周術期薬剤管理加算	周術期における薬剤管理を行う薬剤師が、薬物療法の有効性、安全性の向上について病棟薬剤師等と連携して行っています。
病理診断管理加算 1	病理診断を担当する常勤医師が鏡検し診断を行っています。
悪性腫瘍病理組織標本加算	悪性腫瘍に係る手術の検体から作製された病理組織標本から、医師が疾患の診断や進行状況の把握、治療法の決定、予後の予測に活用します。
クラウン・ブリッジ維持管理料	装着した冠やブリッジについて維持管理をおこなっています。異状があればそのままにせずお早めにお知らせください。
看護職員処遇改善評価料 5 3	一定の役割を担う医療機関に勤務する看護職員の処遇改善を進めています。
外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）	医療に従事する職員の処遇改善を進めています。
歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）	医療に従事する職員の処遇改善を進めています。
入院ベースアップ評価料 6 3	医療に従事する職員の処遇改善を進めています。
酸素の購入単価	酸素を投与する治療を行っています。

【医療従事者の負担軽減及び処遇改善】

勤務医の負担軽減及び処遇改善	・医師事務作業補助者の配置 カルテの代行入力、各種書類作成補助、学会・論文作成の補助 等 ・他職種との業務分担 他の医療従事者への業務移行 ・各種チーム医療体制の充実（栄養サポートチーム 呼吸ケアチーム等）
看護職員の負担軽減及び処遇改善	・看護補助者の配置 ・事務作業者への業務移行 ・他の医療従事者との業務分担 ・多様な勤務形態の導入
その他医療従事者の負担軽減及び処遇改善	・院内保育の設置 ・産休、育休、介護休暇の充実 ・セラピストによる看護職員等に対する腰痛防止体操
職員に対する取り組みの周知	・働き方改革対策委員会、医師事務作業補助検討委員会にて検討し、周知 ・院内掲示板にて周知